

## プログラム（第3日目） 12月4日（火）

### 《 口 演 》

7:00～8:00 口演2 診断と治療におけるイメージング

座長 田宮 隆、藤井 幸彦

- O2-1 新規 MR 撮影法である定量的 MRI による神経腫の非造影病変の可視化  
大阪国際がんセンター 脳神経外科 木下 学
- O2-2 アバスチン投与後の再発膠芽腫における methionine-PET と arterial spin labeling の比較  
岩手医科大学 脳神経外科 別府 高明
- O2-3 神経腫の初回術前 MRI 画像に対する網羅的画像特徴を用いた遺伝子情報予測  
産業技術総合研究所 人工知能研究センター 河口 理紗
- O2-4 視床グリオーマにおける H3K27M 変異と 11C-methionine-PET 集積、臨床経過の検討  
東京医科歯科大学 医学部 脳神経外科 田村 郁
- O2-5 髄膜腫における PET 検査の有用性  
香川大学 医学部 脳神経外科 三宅 啓介
- O2-6 髄膜腫の成長予測における CT Hounsfield unit の有用性  
草津総合病院 脳神経外科 中洲 敏
- O2-7 膠芽腫を標識する噴霧式新規蛍光プローブの開発  
東京大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 北川 陽介
- O2-8 悪性神経腫に対する 5-ALA 蛍光ガイド手術と術中迅速フローサイトメーター併用の検討  
大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科 池田 直廉
- O2-9 小児脳腫瘍摘出における 5-ALA 術中蛍光診断の経験  
自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児脳神経外科 五味 玲

8 : 00 ~ 9 : 00 スポンサーセッション5 新たな治療パラダイム

座長 中田 光俊  
共催 MSD 株式会社  
[Molecular and metabolic vulnerabilities in gliomas - chemotherapeutic sensitivity and resistance]  
Daniel P. Cahill  
Department of Neurosurgery Harvard Medical School and Brain Tumor Center/  
Neuro-Oncology Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA

9 : 00 ~ 10 : 45 シンポジウム3 脳腫瘍治療の新たなパラダイム

(Searching for new targets in malignant brain tumor therapy)

座長 難波 宏樹、橋本 直哉

- S3-1 テモゾロマイド耐性グリオーマに対する治療法  
藤田医科大学 医学部 脳神経外科 大場 茂生
- S3-2 HDAC1-RFP 複合体に関連したアクティブエンハンサー調整機構の解明と新規治療法の開発  
名古屋大学 医学部 脳神経外科 平野 雅規
- S3-3 グルタミン飢餓状態のグリオーマ細胞における一炭素代謝の調整と新規治療標的の探索  
神戸大学大学院 医学研究科 脳神経外科 田中 一寛
- S3-4 Gelsolin のグリオーマにおける役割と分子標的としての microRNA の同定  
金沢大学 脳神経外科 中田 光俊
- S3-5 IGF1R - N-cadherin シグナルを標的としたグリオーマ幹細胞への新規治療戦略  
エモリー大学 脳神経外科 大須賀 寛
- S3-6 AT/RT に対する EZH2 および BET BRD4 標的療法  
ノースウエスタン大学 医学部 脳神経外科 橋詰倫太郎
- S3-7 グリオーマ細胞におけるネオアンチゲン並びに抗腫瘍免疫応答阻害因子の解析  
東京慈恵会医科大学 脳神経外科 赤崎 安晴
- S3-8 再発・悪性転化に伴うネオアンチゲン発現変化を介した神経膠腫の免疫応答変動の解析  
東京大学 医学部 脳神経外科 根城 堯英

10 : 45 ~ 12 : 00 口演3 新たな治療のパラダイム

座長 永根 基雄、藤堂 具紀

- O3-1 Chetomin の膠芽腫血管新生抑制効果  
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 高野 晋吾
- O3-2 悪性グリオーマに対する Ad-SGE-REIC 遺伝子治療  
岡山大学大学院 脳神経外科 黒住 和彦
- O3-3 ゲノム編集 iPS 細胞を用いた悪性神経膠腫に対する自殺遺伝子治療  
慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 田村 亮太
- O3-4 膠芽腫辺縁部の腫瘍幹細胞に高発現する CD44 の特性 -CD44 は新規治療の標的になり得るか  
愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 西川 真弘
- O3-5 C11orf95-RELA 融合遺伝子陽性上衣腫に対する治療標的の同定  
国立がん研究センター 脳腫瘍連携研究分野 小澤 達也
- O3-6 原発性脳腫瘍に対する NGS を用いた治療の可能性 - MASTER KEY Project について -  
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 里見 (津下) 奈都子
- O3-7 初発悪性神経膠腫に対する WT1-W10 免疫療法の臨床試験  
高知県立あき総合病院 脳神経外科 川西 裕
- O3-8 原発性悪性脳腫瘍に対する光線力学的療法の治療成績および自家腫瘍ワクチン併用効果  
東京女子医科大学 脳神経外科 新田 雅之
- O3-9 脳腫瘍幹細胞の BNCT (硼素中性子捕捉療法) 薬剤の取り込み不均一性の解明  
京都大学複合原子力科学研究所 粒子線腫瘍学研究センター 近藤 夏子

12 : 00 ~ 13 : 00 ランチョンセミナー 2

座長 武笠 晃丈  
共催 ノボキア株式会社

「TTFields - Translating Science into Practice」

Joon H. Uhm  
Department of Neurology and Department of Oncology, Mayo Clinic, Rochester, MN, USA

13:00 ~ 14:10 スポンサーシップシンポジウム QOL と機能予後

座長 成田 善孝、宇塚 岳夫  
共催 第一三共株式会社

- SS-1 右大脳半球グリオーマ手術後に生じる感情の障害の特徴：摘出領域による違い  
金沢大学 リハビリテーション科学領域 中嶋 理帆
- SS-2 高齢者の高悪性度神経膠腫における KPS 維持のプライオリティー  
静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科 出口 彰一
- SS-3 悪性神経膠腫の終末期医療における医療ソーシャルワーカーによる支援の検討  
京都大学医学部附属病院 地域ネットワーク医療部 菊池さゆり
- SS-4 膠芽腫の治療成績はどのように向上してきたのか？ TMZ と BEV による臨床的貢献の比較  
九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 秦 暢宏
- SS-5 頭蓋内胚細胞腫に対する放射線・化学療法第2相臨床試験：ジャーミノーマ群の報告  
日本中枢神経胚細胞腫研究グループ 松谷 雅生
- SS-6 小児脳腫瘍患児 10 例における精神・認知機能、学校・家庭生活への適応状態に関する検討  
京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部 田畑 阿美
- SS-7 小児髄芽腫の臨床像および長期的な機能予後に関する考察 - 当院における 26 例の報告  
国立成育医療研究センター 臓器・運動器病態外科部 脳神経外科 松橋 阿子
- SS-8 思春期・若年成人 (AYA) 世代がん患者のニーズを医療従事者は十分に認識しているか  
公益財団法人がんの子どもを守る会 樋口 明子

14:10 ~ 15:10 教育講演 3

座長 佐々木 光  
共催 ライカマイクロシステムズ株式会社

「脳腫瘍の分子診断の基礎と実践」

国立研究開発法人国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 市村 幸一

15:10 ~ 15:15 閉会挨拶

第 36 回日本脳腫瘍学会学術集会会長 植木 敬介